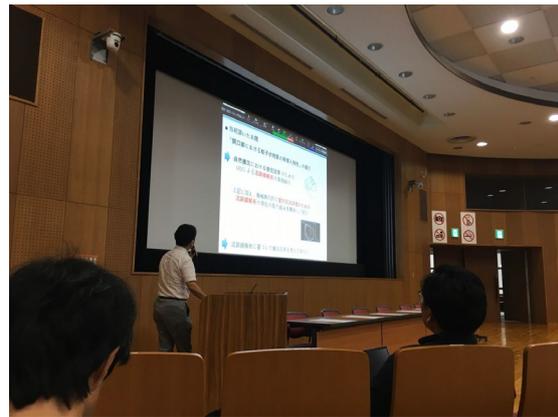


## 第 33 回 空気シンポジウム開催報告

今年度の空気シンポジウムは対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、対面にて 78 名、オンラインで 41 名の方にご参加頂いた。鳥海吉弘先生（東京電機大学）の司会で、富永禎秀先生（新潟工科大学）による開会挨拶、小林光先生（東北大学）による趣旨説明の後、（1）基調講演として、瀬戸章文先生（金沢大学）にご講演頂いた。続いて（2）粒子状物質の実験法について、桃井良尚先生（福井大学）、金政一先生（東京理科大学）からご講演頂き、（3）粒子状物質の CFD 解析法について、李時桓先生（名古屋大学）、小林知広先生（大阪大学）よりご講演頂いた。最後に（4）粒子計測の有用な活用に向けて、篠原直秀先生（産業技術総合研究所）より特別講演頂いた。講演後、李時桓先生（名古屋大学）による進行でパネルディスカッションを実施し、室内環境を対象とした粒子状物質の実験法と CFD 解析についてパネリストよりご意見を頂いた。その他、各講演に対する質疑応答が活発に行われた。

シンポジウム終了後には、対面での懇親会を開催し、活発な研究交流を行った。



シンポジウム会場の様子

(東京工業大学 デジタル多目的ホール)



懇親会の様子

(東京工業大学 食堂つばめテラス)